# 13

## シラカバ林の飛騨乗鞍高原の自然を楽しむ

# 日影平山・かぶと山

山岳の特徴―

ひかげだいらやま　1595・3m

かぶとやま　1545m

日影平山の西に広がる日影平は、以前は牧場だった高原だ。昭和50年、国立乗鞍青年の家（現在の青少年交流の家）と飛騨高山スキー場ができ、長野県側の乗鞍高原に対し、飛騨乗鞍高原と呼ばれるようになった。キャンプ場もあり、オリエンテーリングやハイキング・コースなどが整備され、北アルプスや白山の眺望と標高1500メートルの自然を堪能できる。

**飛騨高山スキー場**への濃飛バスは午後1便で予約制。県道からスキー場に下っていく。ここはもう中部山岳国立公園の一端だ。スキー・キャンプ場管理事務所の前には谷水も出ている。

乗鞍ハイランドホテル（冬期営業）の裏手から遊歩道がある。小さな沢に沿って登り、丁字路に出るが、すぐ左に県道が登ってきている。右に進み、小山を左に回り込んだところがリスの広場で、立派なトイレがある。

右に折れて、コナラの林の中の斜面を横切って谷を渡り、小尾根を巻くように進む。谷を渡って尾根上に出るが、巻道をさらに進むと花水木の広場で、あずまやがある。県道を横切り、舗装道路に入って左手の丘を越え、もう一度県道を渡ると青少年交流の家の看板があるロマンの丘に登る。

銅像のある見晴らしのよい草地を越え、青少年交流の家の駐車場を横切って正面の丘に登る。辺りは一面シラカバ林だ。青少年交流の家裏手の林道に出て、樹陰の車道を**日影峠**へ登ると青屋牧場入口だ。登山道は乗鞍岳へ続いている。

左手の道をとり日影平山へ登る。10分とかからない。**日影平山**山頂は眺望はない。日影峠へ戻り反対側の尾根へ進む。この尾根は乗鞍岳、丸黒山から続く分水嶺の尾根だ。すぐに御嶽見晴台に着く。

カラマツやシラカバ、コナラなどが茂る尾根を何回か登り下りを繰り返して進むと、スキー場のコースに出る。石ころの多い急斜面を登り切ると、リフト終点の**かぶと山**山頂に着く。乗鞍岳が間近に美しい全容を見せてくれる。槍・穂高連峰、焼岳、さらに北方に笠ケ岳、黒部五郎岳、北ノ俣岳など、北アルプスの山々が見晴らせる。西には何もさえぎるものもなく白山が望まれる。

帰りはスキー場のコースをたどって中段まで下り、右手に下って白樺ゲレンデのコースに合流し、緩く下ると管理事務所に着く。

（島田　靖）

乗鞍青少年交流の家付近のシラカバ林の道

ロマンの丘から見た青少年交流の家。背後が日影平山

樹林の中の日影平山山頂

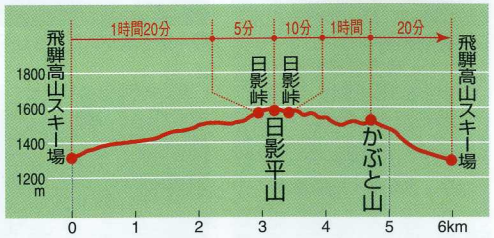
| コースの難易度 | |
|---|---|
| 体力度 | 危険度 |

**日帰り**

歩行時間:3時間

歩行距離:6.1km

累積標高差:＋453m　－453m




登山適期

1月 2月 3月 4月 **5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月** 12月

## チェックポイント

❶出発点となる乗鞍高原管理事務所

❷日影峠

❸御嶽見晴台

❹かぶと山山頂

### ■登山シーズン

春の乗鞍高原一帯はタムシバの花で山肌が白くなる。マンサクやダンコウバイなどの花も多い。夏はキャンプ場を中心に野の花がいっぱいである。広葉樹中心のこの一帯は秋の紅葉が素晴らしい。10月10日過ぎが見ごろ。キノコ狩りもできる。冬はスキー場が営業するが、スノーシューやクロスカントリースキーも楽しい。樹氷が見事だ。

### ■ワンポイント・アドバイス

＊マイカー、タクシー利用が便利。バス利用の場合は、キャンプ場か青少年交流の家に泊まる。

＊国立乗鞍青少年交流の家は事前に申込みが必要。400名収容。施設使用料、食事代シーツ代だけで2050円。飛騨高山キャンプ場にはバンガローがある。

＊乗鞍高原一帯はオリエンテーリングコースや遊歩道が縦横につけられている。青少年交流の家のオリエンテーリングマップを買っていろいろなコースの散策を楽しむのもよい。カラマツの樹陰はベニバナイチヤクソウやマイヅルソウの大群落だ。

＊冬は飛騨高山スキー場となってバスの便も増える。飛騨ハイランドホテルは冬期営業。

### ■問い合せ

高山市役所観光課☎0577-32-3333、国立乗鞍青少年交流の家☎0577-31-1013、飛騨高山スキー場☎0577-31-1020、濃飛バス☎0577-32-0045、鳩タクシー☎0577-32-0246、山都タクシー☎0577-32-2323、新興タクシー☎0577-32-1700

### ■2万5000図

飛騨青屋